

気候変動×生物多様性による豊かな地域づくり ～食と環境の未来を中心に～

登壇者プロフィール

主催：環境省
共催：国連大学サステナビリティ高等研究所(UNU-IAS)

2024

2月29日[木]14:00～17:00 オンライン開催

第1部「世界と日本における持続可能な食と環境の最新動向」



一般社団法人イクレイ日本
事務局長

内田 東吾

2006年5月に国際協力銀行(JBIC)に入行、世界銀行、アジア開発銀行、韓国・中国・タイなどの援助機関との連携業務に携わる。2009年4月から国際協力機構(JICA)の企画調査員としてタイに3年、カンボジアに5年勤務。環境・気候変動分野の国際協力事業を担当し、環境公害対策、気候変動対策、都市の環境インフラ支援事業に従事。2017年7月に(公財)地球環境戦略研究機関(IGES)に入所、ASEAN各国都市のSDGs推進事業を担当。2018年7月より現職。



国連大学サステナビリティ高等
研究所(UNU-IAS)
プログラム・ヘッド

竹本 明生

環境省等において気候変動や環境アセスメント制度に関する政策の企画立案や国際交渉等を担当、2018年から地球環境ファシリティ(在ワシントンDC)において途上国に対する資金協力を担当。2020年から国連大学において気候変動政策と持続可能な開発に関する政策に関する研究、人材育成、教育等のプログラムの開発及び実施を担当。

第2部「わが国における食と環境の未来を考える」

モデレーター



東北大学グリーン未来創造機構/
大学院生命科学研究科教授 兼
日経ESGシニアエディター

藤田 香

富山県出身。東京大学理学部物理学科卒。日経BPに入社し、日経エレクトロニクス記者、ナショナルジオグラフィック日本版副編集長、日経エコロジー編集委員などを経て、日経ESGシニアエディターを歴任。東北大学教授を兼務する。生物多様性とビジネス、持続可能な調達、地方創生などが専門。環境省中央環境審議会委員。『ESGとTNFD時代のイチから分かる生物多様性・ネイチャーポジティブ経営』(2023年)などの著書がある。

事例紹介



株式会社脱炭素化支援機構
取締役専務執行役員
(事業推進担当：CIO)

上田 嘉紀

京都大学工学研究科修士課程修了後、関西電力株式会社で、原子力事業、政策対応(気候変動、システム改革)、ガス・LNG販売、DX戦略、eモビリティ・宇宙等の新規事業開発、合同会社K4 Venturesを通じたスタートアップ投資を担当。2003年～2005年、スタンフォード大学客員研究員、シリコンバレーのVCでスタートアップ投資。2022年10月より現職。東京大学公共政策大学院客員研究員。CIC Tokyo E&Eコミュニティ アドバイザリーボード。特許庁IPASビジネスメンター。文部科学省SBIRフェーズ3(宇宙(輸送))採択審査委員会 副委員長。原子炉主任技術者、米国公認会計士、中小企業診断士。

気候変動×生物多様性による豊かな地域づくり ～食と環境の未来を中心に～

登壇者プロフィール

主催：環境省
共催：国連大学サステナビリティ高等研究所(UNU-IAS)

2024

2月29日[木]14:00～17:00 オンライン開催

第2部「わが国における食と環境の未来を考える」

事例紹介



株式会社坂ノ途中
代表取締役
小野 邦彦

1983年奈良県生まれ。京都大学総合人間学部では文化人類学を専攻。外資系金融機関での「修行期間」を経て、2009年株式会社坂ノ途中を設立。「100年先もつづく、農業を」というメッセージを掲げ、農業や化学肥料不使用で栽培された農産物の販売を行っている。提携農業者の約8割が新規就農者。少量不安定な生産でも品質が高ければ適正な価格で販売できる仕組みを構築することで、環境負荷の小さい農業を実践する農業者の増加を目指す。東南アジアの山間地域で高品質なコーヒーを栽培することで森林保全と所得確保の両立を目指す「海ノ向こうコーヒー」も展開。

事例紹介



公益財団法人八木町農業公社
事務局長
中川 悦光

1974年4月、八木町役場に入職。1978年3月、立命館大学経営学部卒業1986年から農業委員会、農林課で農業事業に従事、1995年10月EU各国のバイオガスシステムの調査を行う。1997年2月、畜産総合対策事業補助金でメタン発酵施設の建設事業を担当、以来南丹市の八木バイオエコロジーセンターの運営、消化液の農業利用や生ごみ分別実証によるメタン発酵調査などバイオガス事業に関連する多くの事業、研究に携わる廃棄物資源循環学会会員。2019年6月より現職

事例紹介



コープデリ生活協同組合連合会
サステナビリティ推進部 部長
安 光晴

コープデリグループでは、「CO・OP ともに はぐくむ 暮らしと未来」との理念を掲げ、人と自然が共生する社会と平和な未来づくりに取り組んでいる。その一つとして、地球環境や生態系への影響に配慮した循環型、持続可能な食料生産を、さまざまなパートナーと協力の力で推進している。本シンポジウムでは、代表的な取り組みである「4つのプロジェクト」についてご報告いただく。

総括



公益財団法人地球環境戦略研究機関(IGES) 理事長
東京大学未来ビジョン研究センター 特任教授
国連大学サステナビリティ高等研究所(UNU-IAS)
客員教授
武内 和彦

1951年和歌山県生まれ。74年東大理卒、76年同農院修士修了、農学博士。東大アジア生物資源環境研究センター教授等を経て、97～2012年東大院農学生命科学研究科教授。08～16年国連大副学長／上級副学長。12～19年東大サステナビリティ学連携研究機構長・教授／特任教授。16年～国連大サステナビリティ高等研究所(UNU-IAS)客員教授。17年～地球環境戦略研究機関(IGES)理事長。19年～東大未来ビジョン研究センター特任教授。